

遠野文化フォーラム

『遠野物語』の新時代 ～平地人を戦慄せしめよ～



上『遠野物語』について意見を交わす出演者
右 遠野文化賞を受賞した小説家の京極さん

遠野の豊かな文化的資源を生かしたまちづくりを考える「遠野文化フォーラム」(遠野文化研究センター主催)は8月21、22の両日、あえりあ遠野などで開催され、市内外から380人が参加しました。

21日はあえりあ遠野で開かれ、遠野文化賞表彰式や遠野遺産と語り部の認定証交付式、シンポジウムなどを実施。遠野文化賞は、柳田國男の『遠野物語』を再構築した『遠野物語remix』の著者で小説家の京極夏彦さんが受賞しました。シンポジウムでは、有識者たちが『遠野物語』の新たな可能性についてユーモアあふれる語り口で意見を交わし、会場を沸かせました。

22日は市立図書館視聴覚ホールでショートフィルムの上映や、

「写真と遠野」と題して写真家の内藤正敏さん、新井卓さんによるトークライブが開催されました。



トークライブに聞き入る参加者たち

新たに認定された遠野遺産

※番号は遠野遺産認定番号

- 144 新里の愛宕神社(遠野、有形文化遺産)
- 145 卯子酉神社(遠野、有形文化遺産)
- 146 程洞稲荷神社(遠野、有形文化遺産)
- 147 長岡大日神社(綾織、有形文化遺産)
- 148 鷹鳥屋獅子踊り(小友、無形文化遺産)
- 149 下同心丁枡形と法華題目の碑(遠野、複合遺産)

8月9日 遠野西中学校プール落成式

新プールの水面に笑顔輝く

同校の生徒が落成式を開き、生徒や関係者ら120人は生まれ変わったプールの完成を祝いました。同校のプールは、建築から35年以上経過し老朽化が進んでいたため、平成27年度に改修工事に着手。新たに温水シャワーを導入するなど、生徒がより安全で快適に利用できるようにしました。総事業費は、約8,500万円です。



テープカットで落成を祝う関係者ら

8月7日～12日 東京大学サマーイノベーションプログラム

高校生と大学生が遠野を考える

東京大や海外の大学生22人と、市出身の高校生21人は、遠野みらい創りカレッジを拠点にフィールドワークなどを行いました。「発酵」や「森林」、「教育」など5つのグループに分かれ、遠野を元気にするアイデアを考案。今後は、高校生たちが自分たちの案を実行に移し、9月にはその成果を発表する予定です。



斬新なアイデアを発表

8月13日 市青年団体協議会10周年記念式典

東北復興への熱い思いを語る

式典はあえりあ遠野で開催され、市内の青年ら約80人が出席。功労者に感謝状を贈呈したほか、記念事業として、震災復興を祈念し今年5月にエベレスト登頂を果たした、俳優のなすびさんが講演を行いました。なすびさんは「信念をもって諦めず、努力を続ければ夢はかなう」と参加者へエールを送りました。



エベレスト登頂を果たしたなすびさんが熱弁

7月31日 遠野ホップ畑生き物観察会

ホップ畑を観察しよう

観察会は松崎町のホップ畑で開かれ、参加した13人の親子は、ホップ畑に生息するクワガタやチョウなどの昆虫を観察しました。ホップ畑が遠野の自然環境に与える良い影響を体感してもらおうと、本市とキリンビールなどによるTKプロジェクトが初開催。観察後は、記録シートを作成し、発表会も開きました。



ホップ畑を観察する参加者

8月7日 いわたの名水20選「稲荷穴」でイベント

ひんやり名水に親しむ夏

達管部地域づくり連絡協議会が企画したイベントには、親子連れなど300人が来場。ステージでは郷土芸能やパルーンアートショーが披露されたほか、根わさび入りそばの早食い競争やスイカ割り大会も行われ、会場は盛り上がりました。また、名水を使った流しそうめんも行われ、参加者は涼感を堪能しました。



名水を使った流しそうめんは大盛況

8月6日 第30回遠野市少年消防クラブ防火野球大会

防火を願って全カプレー!

市少年消防クラブ防火野球大会(市少年消防クラブ育成大会主催)が早瀬川緑地公園で開催され、市内から9チームが出場しました。開会式では、土淵野球スポーツ少年団の阿部和斗くんが「リオ五輪に負けないプレーをします」と力強く宣言し、プレイボール。子どもたちが一生懸命白球を追いかける姿に、応援に駆け付けた家族から大きな声援が

送られました。

この日は、第1回から同大会に協力してきた岩手アパレル株式会社の萩野茂男会長に感謝状が贈呈されました。

1_優勝した上郷野球スポーツ少年団 2_萩野会長に消防長から感謝状が贈られた



7月30日 長寿を家族らが祝福

上郷町の笹村コトさん100歳

コトさんの100歳を祝う会はあえりあ遠野で開かれ、家族らが祝福しました。本町市長が記念品と花束を贈呈すると、コトさんは「ありがとうございます」と元気にあいさつしました。コトさんは、大正5年に綾織町に生まれ、小学校で教鞭をとりながら、夫・新二郎さんの文房具店を手伝い、2女を育て上げました。



本町市長から記念品を受け取るコトさん

8月3日 地方創生講演会「ごちゃまぜの力」

いつも人が集う場所を

市は、同講演会をあえりあ遠野で開催し、市民ら120人が参加しました。生涯活躍のまち推進協議会の雄谷良成会長が「ごちゃまぜの力 人が集まる 育つ元気」と題し講演。多様な立場や世代の人が関わり合い、地域づくりに参加する場づくりの経験を紹介し、「普段から人が集まれる場所を創ることが大切」と呼びかけました。



地域活性化の手法を熱弁する雄谷さん

